

家庭用

ダブル除菌システム搭載

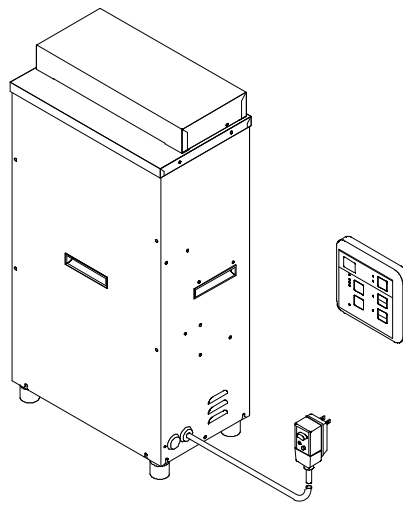
24時間風呂

家庭用

屋外設置タイプ

VARUNA
バルナミニ
mini
CKV-251J

取扱説明書



このたびはバルナ mini CKV-251J をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

お使いになる前に必ずこの取扱説明書を読み、
読んだあとはいつでもご覧になれるように必ず
保管してください。

⚠ 警告

- ・温水循環器は取扱説明書に従って正しく使用してください。
- ・ご使用になる前には必ず温水循環器の各部に異状がないことを確認してください。また、各部にき裂、へこみ、曲がり、ゆるみなどの異状を生じた場合は使用しないでください。

- 別添の保証書の内容もよくお読みいただき、必ずお買いあげ日、販売店名等の記入を確かめてください。



もくじ








1, 特に注意していただきたいこと	1~6
2, 各部の名称	7~10
3, 操作のしかた	11~21
1. 運転の準備	11
2. 運転開始	13
3. 各機能	14
4. 長期間使用しないとき	18
5. 凍結予防	18
6. 水抜き方法	19
7. 使用上の注意	20
4, 日常の点検	22
5, 日常のお手入れ	23~26
1. 浴槽水換水と浴槽清掃	23
2. トップフィルターの洗浄	24
3. ろ過材の洗浄	24
4. 配管洗浄	25
6, 異常とその処置	27~28
7, 部品交換のしかた	29
8, 仕様	30
9, アフターサービス	31

特に注意していただきたいこと

◆ご使用前に『特に注意していただきたいこと』の項をお読みのうえ正しくお使いください。

- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- この取扱説明書の中に出てくる『警告』『注意』を意味する各図記号を説明します。これらは安全にご使用いただくためのものですので、特に図記号のついたページ、項目はよくお読みください。
- 『注意』の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を示しています。

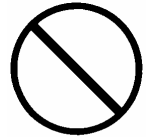
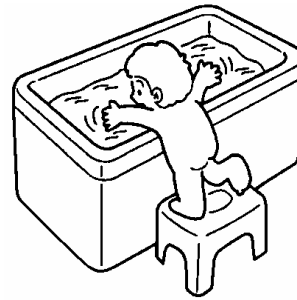
 禁止	 強制	 電源プラグを抜け
 分解禁止	 感電注意	 アースを接続せよ
 高温注意		

警告

●お風呂に入る前に

- ・幼児や体の不自由な方を一人で入浴させないでください。

おぼれたり、やけどやケガをするおそれがあります。



禁止

- ・小さなお子様を浴室内で遊ばせないでください。

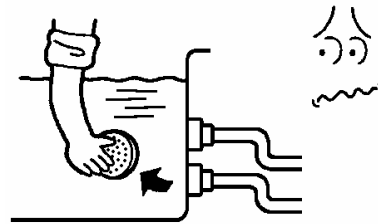
おぼれたり、やけどやケガをするおそれがあります。



禁止

- ・浴槽循環口のフィルターセットやフィルターを外して使用しないでください。

運転中に吸い込まれて、おぼれたりするおそれがあります。

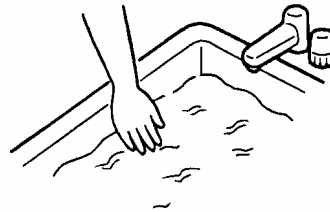


禁止

●高温注意

- ・入浴の際には手で湯の温度を確かめてください。

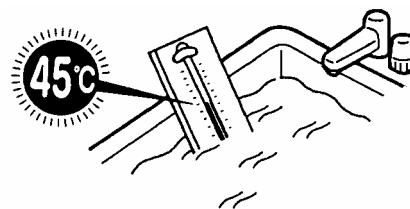
やけど予防のため



高温注意

- ・浴槽内には45℃以上のお湯はりしないでください。

やけど予防のため



禁止

●異常時、緊急時の処置

- ・地震や火災などの緊急の場合は漏電保護プラグを抜いてください。
- ・異常が発生した時（こげ臭い、異常音など）は運転を停止して漏電保護プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

異常のままで運転を続けると、感電や火災故障などの原因になります。



電源プラグを抜け

●除菌性能を守るために

- ・紫外線灯が点灯しているか、ときどき点検してください。
- ・点灯確認の時、紫外線灯の光を直視しないでください。



確認

特に注意していただきたいこと

警告

●使用電源の確認

- ・この本機の電源はAC100V 50/60Hzです。

他の電源で使用すると故障の原因になります。



確認

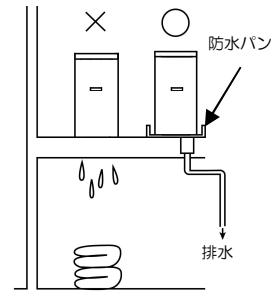
●本機の設置・移動工事は

- ・本機の設置・移動及び付帯工事はお買い上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置してください。

思わぬ事故を予防するため

- ・雨水等のかからない屋外に設置してください。

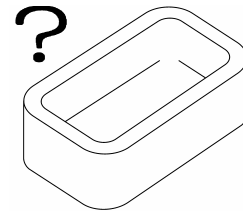
やむを得ず屋内に設置する場合は、本機が万一水もれ等を起こしても支障のない場所や、防水対策を施して設置してください。



確認

- ・本機を設置する前に浴槽の材質を確認してください。浴槽メーカーの24時間風呂対応浴槽をご使用ください。

一部の浴槽には、浴水を長時間貯めて継続使用しますと浴槽の表面に荒れ、膨れ、変色が起こる場合があります。



確認

※本機は入浴以外の目的には絶対に使用しないでください。



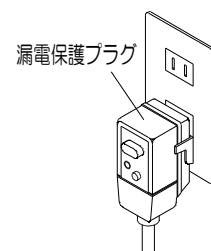
禁止

注意

●電気事故防止

- ・濡れた手で漏電保護プラグをさわらないでください。

感電のおそれがあります。

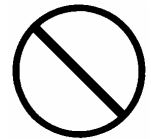
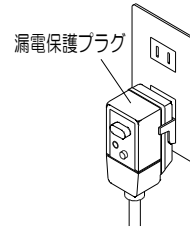


感電注意

⚠ 注意

- ・電源コードを引っぱって漏電保護プラグを抜かないでください。

電源コードの断線（芯線の一部）による発熱や発火の原因になります。



禁止

- ・漏電保護プラグの差し込みは確実に行ってください。

プラグにほこりが付着していたり、差し込みがゆるいと火災や感電の原因になります。



確認

- ・長時間使用しないときは漏電保護プラグを抜いてください。

火災や予想しない事故の原因になります。



電源プラグを抜け

- ・ときどきは漏電保護プラグを抜き、ほこり（及び金属物）等を除去してください。

ほこり等がたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

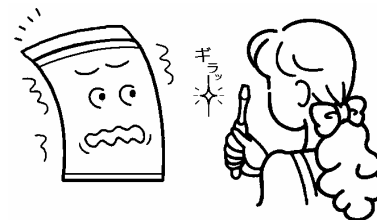


確認

●分解・改造の禁止

- ・本機の分解や改造を行わないでください。

ショート、感電、火災、故障の原因になります。



分解禁止

●アースの確認

- ・本機はアースが必要です。アースされているか確認してください。

アースを外して使用すると万一の故障や漏電のとき感電の原因になります。



アース接続

特に注意していただきたいこと

お願い

●浄化性能を守るために

- ・温泉水や炭酸カルシウムを多く含んだ水や飲料不可な水等は使用しないでください。

本機を傷める場合があります。

- ・浴槽内では、入浴剤、石けん、ボディシャンプー、クリームなどは使わないでください。
(特に硫黄成分を含んだ入浴剤を使用しない。)
- ・体に塗った薬類やひどい汚れは入浴前によく洗い流してください。
- ・薬草・果実類を浮かべて使わないでください。

浄化性能が低下する場合があります。

- ・万一、あやまって使用した場合は浴槽の水を全て入れ替えてください。



禁止



確認

●にごり対応（水交換の目安、注意）

- ・本機の使用条件によっては浴槽水がにごることがあります。
浴槽水がにごった場合、次のような処置を行ってください。

1. 漏電保護プラグを抜いて運転を停止してください。
2. 浴槽水を全て抜いてください。
3. 浴槽内側の面にヌメリが付いている場合は、洗い流してください。
4. 浴槽に改めてお湯をはってください。
5. 漏電保護プラグを入れて運転を再開してください。



確認

- ・対応入浴人数を越える方が入浴された場合または1度に多数の方が入浴された場合浴槽水が濁ることがあります。この場合、浴槽水を抜いて入れ替えてください。

●臭い対応（一般的な臭い、処置）

- ・本機を使用し、正常に浄化している場合でも全く無臭と言うわけではなく、若干の臭いはあります。もし、にごりはないが不快臭が浴槽水からする場合は、次のような処置を行ってください。

1. 漏電保護プラグを抜いて運転を停止してください。
2. 浴槽水を全て抜いてください。
3. 浴槽内側の面にヌメリが付いている場合は、洗い流してください。
4. 浴槽に改めてお湯をはってください。
5. 漏電保護プラグを入れて運転を再開してください。



確認

お願い

●補助用具について

- ・本機の付属品または、指定のもの以外は使用しないでください。

事故防止のため



禁止

●停電時について

- ・停電すると運転が停止します。
停電後、再通電すると、停電前の運転に戻ります。温度設定などを確認してください。

事故防止のため



確認

●落雷のおそれがある時

- ・近くで雷の音が聞こえてきたときは、漏電保護プラグを抜いてください。

落雷による電子部品の破損予防のため



電源プラグを抜け

●凍結に注意

- ・冬期には、凍結による本機の破損予防のために必要な処置をしてください。

(詳しくは18ページをお読みください。)

凍結すると、水漏れや故障の原因になります。



確認

●長期間使用しない場合

- ・長期間使用しない場合は、凍結などを防止するために必要な処置をしてください。
(詳しくは18ページをお読みください。)



確認

●点検・お手入れ

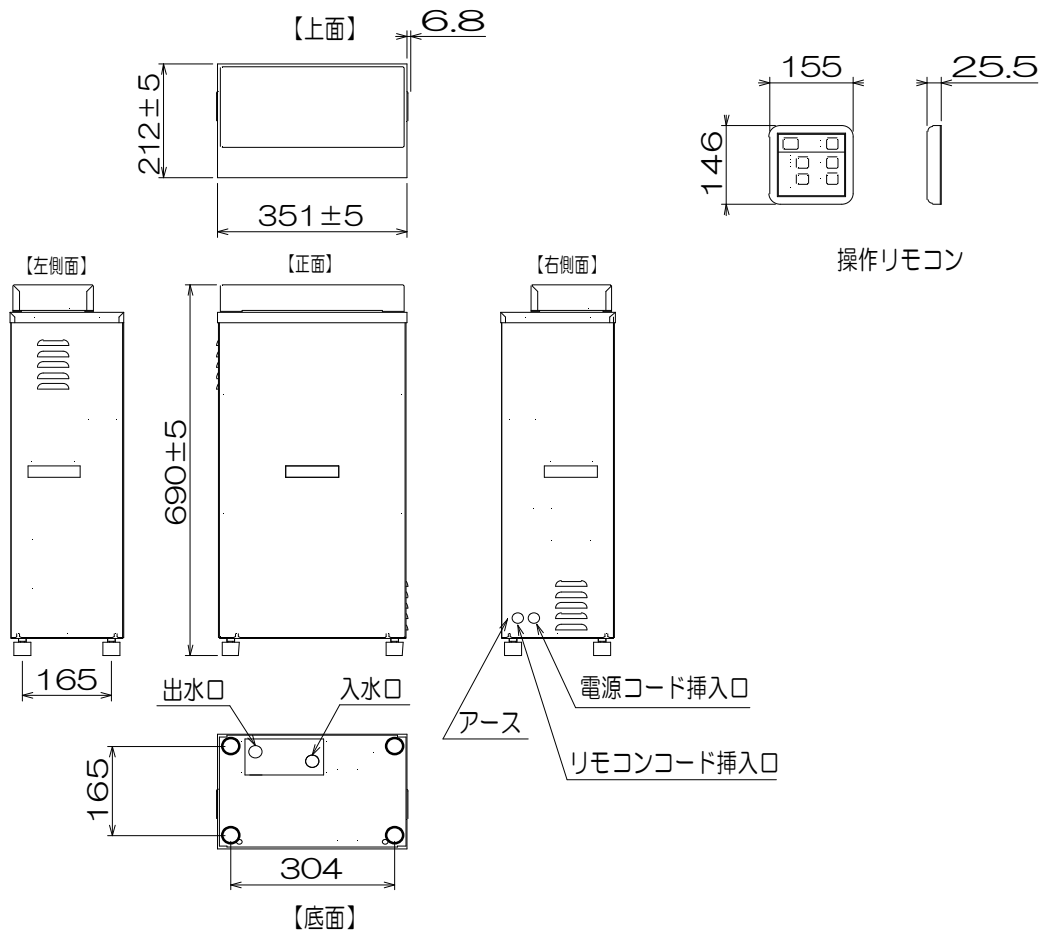
- ・点検・お手入れを必ず行ってください。
(詳しくは22～26ページをお読みください。)



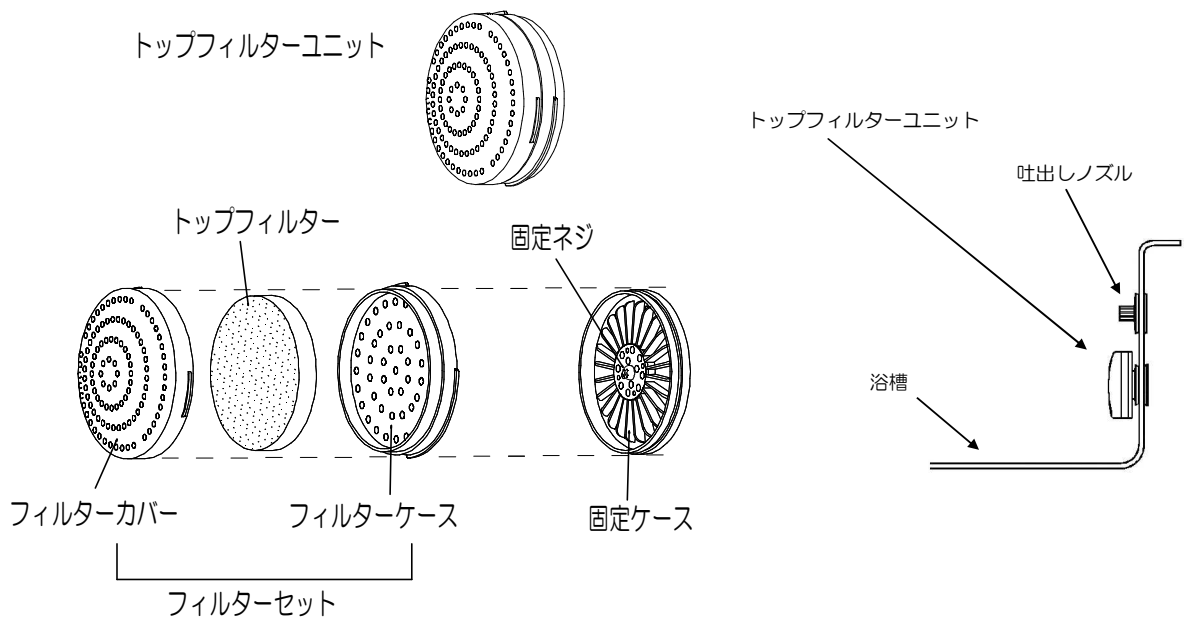
確認

各部の名称

外 観

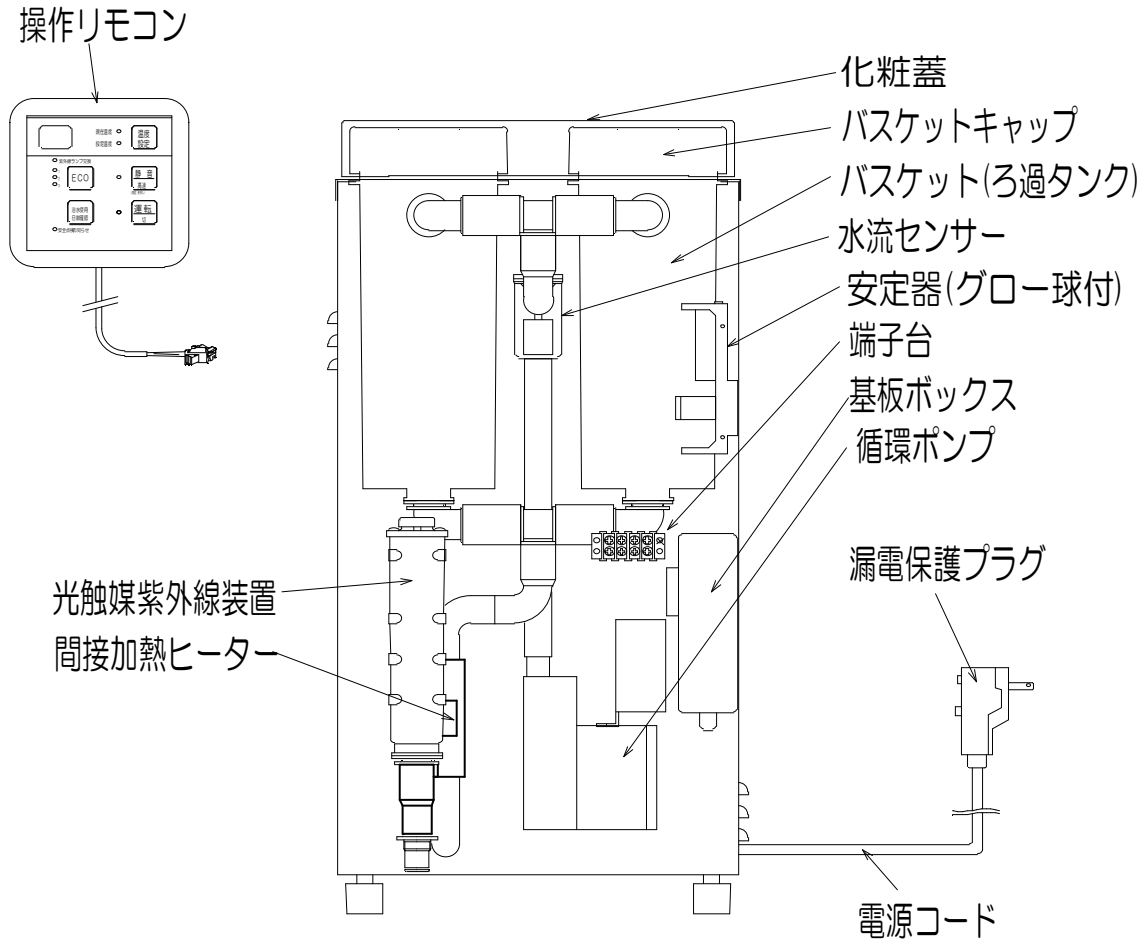


トップフィルターユニット 外 観



各部の名称

構造



光触媒紫外線照射浄化システム

●ダブル制菌システム

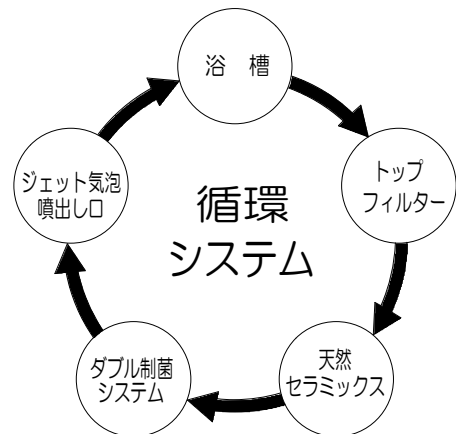
紫外線直接殺菌と、浴水中を透過してきた残余の紫外線を、光触媒である酸化チタンに照射して制菌効果を補う、ダブル制菌システムを採用しています。

●トップフィルター

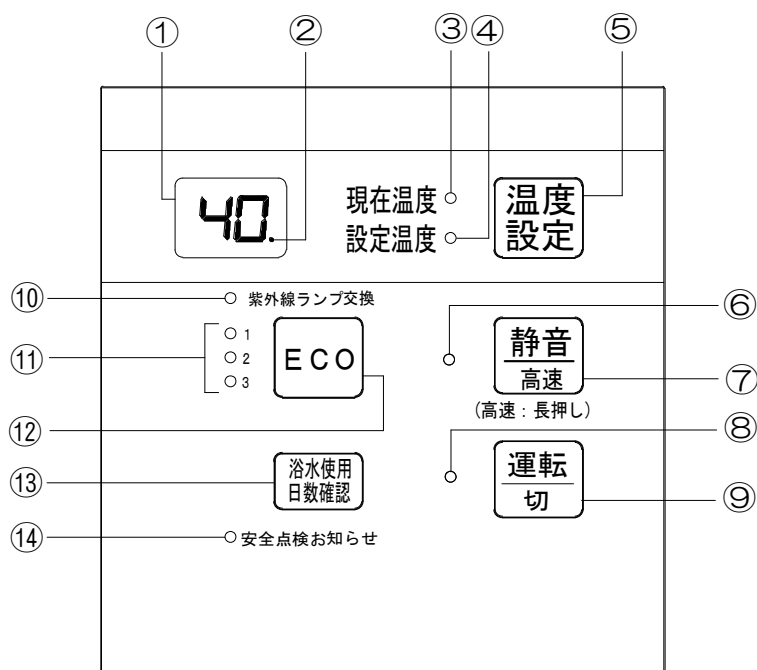
髪の毛、糸クズ、砂、泥など、目に見えるゴミをキャッチします。

●天然セラミックス

アカ、脂肪類、汗に含まれるアンモニアなどを吸着します。さらに、不潔な有機物を水に分解します。



操作パネル



① 温度表示部

- ・ 浴水温度を表示
- ・ 設定温度を表示
- ・ 浴水の使用期間を表示
- ・ エラー表示
- ・ ECO モードの設定時間表示
- ・ 高速運転の間欠運転を表示
- ・ 紫外線ランプ交換時の異常表示

② ヒーターランプ

ヒーター通電中に点灯

③ 現在温度ランプ

温度表示部に現在の温度を表示しているとき点灯

④ 設定温度ランプ

浴水温度設定中に点灯
(このとき温度表示部に設定温度を表示します)

⑤ 温度設定スイッチ

- ・ 浴水の温度を設定
(31℃、37～45℃またはヒーターOFF)
- ・ 「OF」表示のときは「ヒーター切」で運転
- ・ 高速運転時、間欠運転の切り換え

⑥ 静音／高速ランプ

通常運転中：消灯
静音運転中：点灯
高速運転中：点滅

⑦ 静音／高速スイッチ

- ・ 約8時間静音で運転する(時間変更可)
- ・ 長押しすると高速運転する

⑧ 運転ランプ

- ・ 運転中に点灯
- ・ エラー表示のとき点滅

⑨ 運転スイッチ

- ・ 運転の入／切
(運転の入／切は必ずこのスイッチで行ってください)
- ・ エラーのリセット

⑩ 紫外線交換ランプ

- ・ 紫外線ランプの交換時期に点灯または点滅します
- ・ 点灯または点滅したとき約30秒に1回、温度表示部に「☐」を表示します

⑪ ECOランプ

ECOモード運転中に点灯、設定中は点滅

⑫ ECOスイッチ (17ページ参照)

- ・ 押してECOランプを点灯させると「ヒーター切」運転を行い、節電運転します
- ・ 初期設定では、ランプ1個点灯毎に5時間の節電運転を行います
- ・ ECOモードの設定時間を変更するときに使用します

⑬ 浴水使用日数スイッチ (18ページ参照)

- ・ 浴水の使用日数を確認したいときに使用します
- ・ 浴水を交換したとき、浴水使用日数のクリア操作に使用します

⑭ 安全点検お知らせランプ

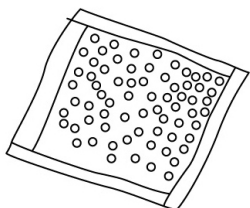
- ・ お客様に安全点検をお知らせするランプです
- ・ このランプが点滅したら必ず、販売店に点検をご依頼ください (点検は有料です)

※お客様に製品を安全に長期間ご使用いただくため、「長期使用安全点検・表示制度」の主旨に準じて、製品の経年劣化等による製品の重大事故を防止するための機能です

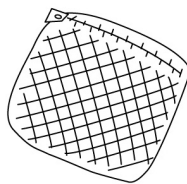
※本機は、安全点検お知らせランプが点滅した場合でも、継続してご使用になられますが、お客様が安心してご使用いただくため、このランプが点滅したら早めに販売店に点検をご依頼ください。

付属品

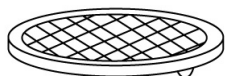
※は消耗品 ()は、入数。



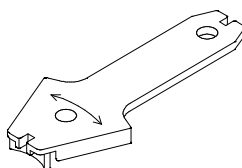
※ ろ過材 (4)



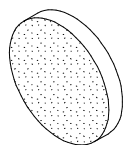
※ ろ過材ネット (4)



バスケット底網 (2)



締付ハンドル (1)



※ トップフィルター (2)

別売品

- ・ 交換用トップフィルター : 傷んだら交換
- ・ 補充用ろ過材 : 摩耗などにより減少したら補充
- ・ ろ過材ネット : 傷んだら交換
- ・ 交換用紫外線ランプ : 約 1 年または交換ランプが点灯(点滅)したら交換
- ・ グロー球 : 紫外線ランプ交換時に交換
- ・ 配管洗浄剤 : 配管洗浄毎に使用
- ・ 浴水清浄液 (レジックス)

操作のしかた

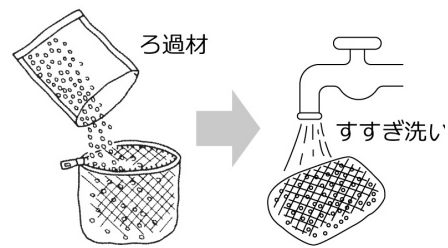
1. 運転の準備

- はじめて運転するときには次の手順で行ってください。
- 注意事項はよく確認してください。

1. ろ過材のセット

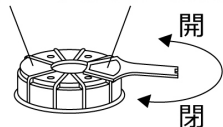
- ① ろ過材をろ過材ネットに入れ、水道水ですすぎ洗いしてください。(4袋すべて)
- ② 本体の化粧蓋を外し、付属のハンドルでバスケットキャップと内蓋を外してください。
- ③ バスケットに、バスケット底網を突起を下に向けて入れます。
- ④ 1つのバスケットに、ろ過材の入ったろ過材ネット2袋をセットします。
- ⑤ 内蓋をしてバスケットキャップを閉めてください。

同様の方法で、2箇所すべてのバスケット(ろ過タンク)にろ過材をセットしてください。

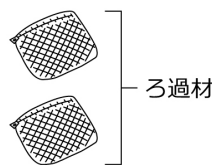


ろ過材ネット

バスケットキャップ 締付ハンドル (付属品)



内蓋



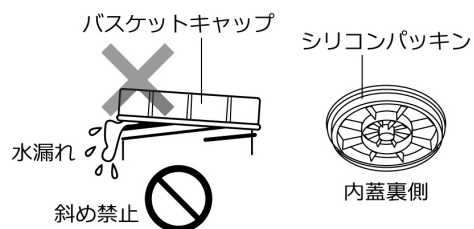
バスケット底網

突起

バスケット

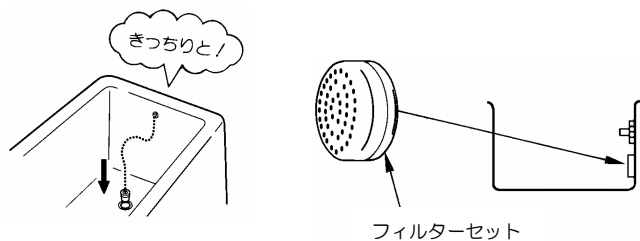
⚠ 注意

- バスケットキャップと内蓋は本体と水平になるように閉め、専用ハンドルで締めてください。
- バスケットキャップと内蓋を斜めに取り付けたり、確実に締まっていないときに運転すると、水漏れして本機の故障の原因になります。
- 内蓋を取り外しするときは水漏れ防止のため、内蓋のシリコンパッキンが外れていないか、または傷んでいないか確認してください。



- ⑥ 浴槽の排水栓を、水漏れのないように取り付けてください。

- ⑦ 吸込み口に、フィルターセットを取り付けてください。

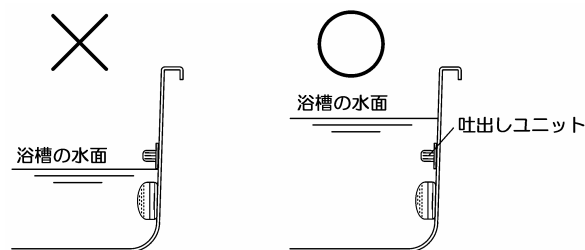


フィルターセット

- ⑧ 浴槽の水面が吐出しユニットより上になるように湯(水)はりしてください。

⚠ 注意

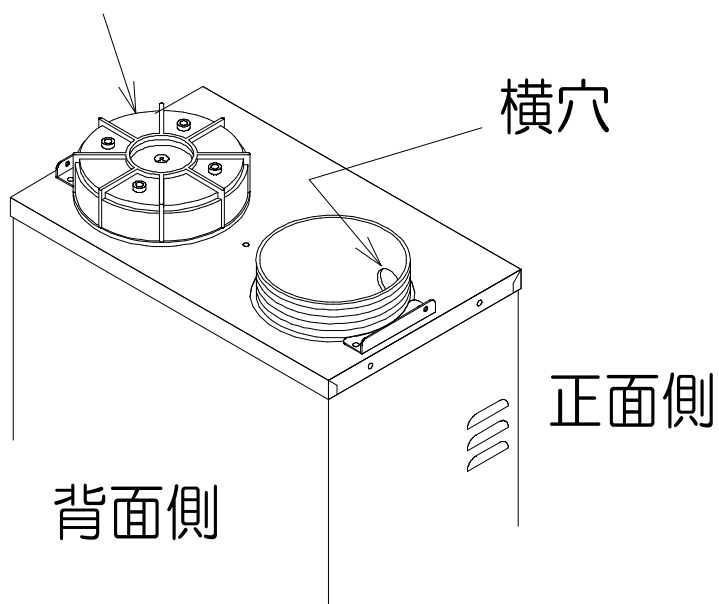
- 本機は厚生省令第56号に適合する水道水を対象としていますので、温泉水等での使用は避けてください。
- 50℃以上の熱湯を浴槽に入れて本機を使用しないでください。



2. 呼び水（むかえ水）のしかた

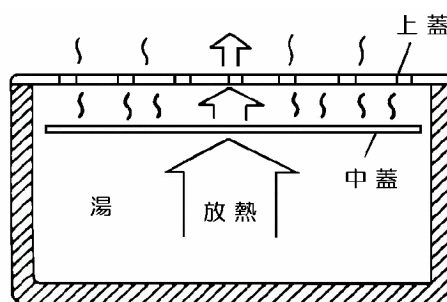
1. 浴槽に水をはってください。
2. ポンプに呼び水をしてください。
本体化粧蓋を外し、2つあるバスケットキャップのいずれかを開け、バスケットに水を注ぎ入れ、バスケット内側の横穴がつかるまで水を入れてください。
※浴槽よりも本体を高く設置している場合等で、バスケットに水が溜まりにくいときは、横穴に直接水を注ぎ入れてください。
3. 運転スイッチを押して運転を開始してください。（操作のしかた 13ページ参照）

バスケットキャップ



経済的な使用方法

- ◎浴槽の湯面に中蓋を浮かし、その上に上蓋をすると湯面からの放熱がふせげます。



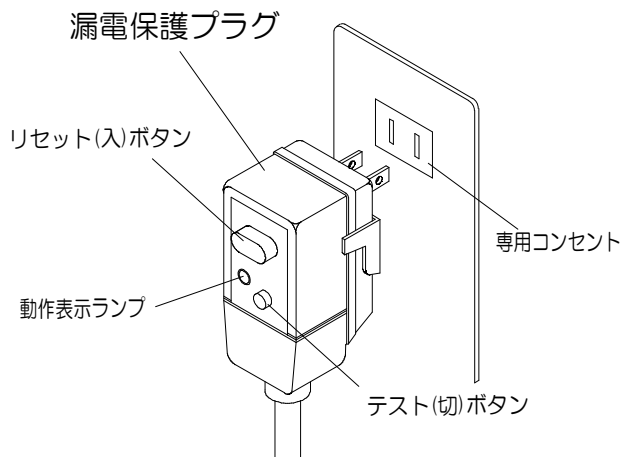
操作のしかた

2. 運転開始

- ① 漏電保護プラグをコンセントへ差し込み、プラグのリセット(入)ボタンを押す。
(動作表示ランプが消灯します。)
- ② 操作パネルの運転スイッチを押してください。
※バスケットキャップが確実に閉まっていることを確認してから、運転スイッチを押してください。

⚠ 注意

- ・電源は必ず専用コンセントを使用し、延長コードは使用しないでください。
- ・差し込みのゆるい電源コンセントは使用しないでください。

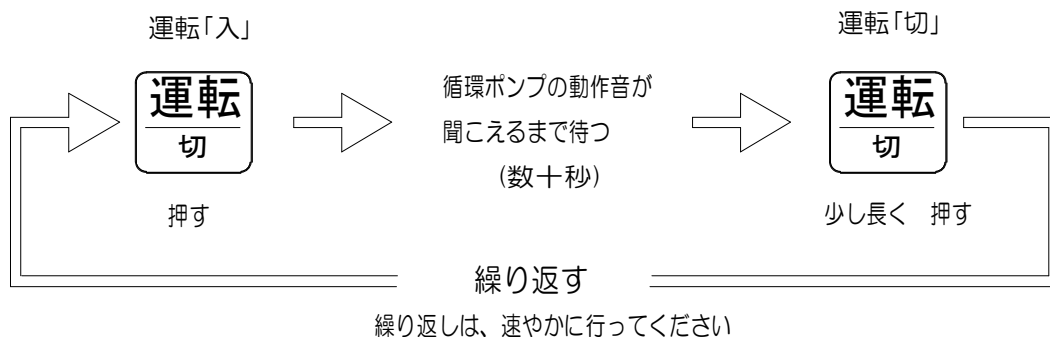


操作パネルの運転スイッチを押す



漏電保護プラグのリセット(入)ボタンを押しても動作表示ランプが消えない場合は、コンセントから漏電保護プラグを抜き、販売店にご連絡ください。

- ・運転スイッチを押しても、吐出しノズルから浴水が継続して流出しない場合（E3表示）、次の手順を行ってください。



運転開始時、ポンプから大きな音がする場合があります。運転開始後、音が止まれば異常ではありません。これは、本体内部に浴水が完全に入っていないために起こる現象です

3. 各機能

1. 運転の入/切

○運転スイッチを一度押すと運転開始。停止させるときには少し長く押します。

○運転中は運転ランプが点灯します。

※漏電保護プラグで電源を切るときは、必ず運転スイッチで本体を停止させてから行ってください。

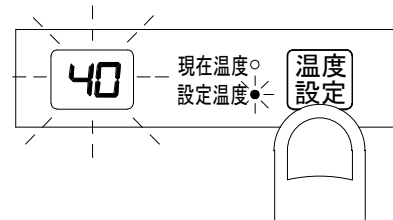
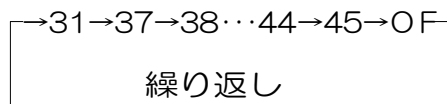
2. エラーのリセット

○運転中にエラー表示が出ると自動停止します。運転を再開するときには原因を解明して運転スイッチを押し、「切」→「入」します。

3. 温度設定

①温度設定スイッチを押すと、設定温度ランプが点灯（現在温度ランプは消灯）し、温度表示部に現在設定されている温度が点滅表示されます。

②温度設定スイッチを一度押す毎に1℃上昇します。



●31℃・37℃～45℃までの間で、お好みの温度を設定します。

31℃設定は、本機とは別に、追いだき機能があるご家庭でご使用になれます。
(毎回入浴前に、追いだきでの加温が必要になります。)

③温度設定を「OF」にすると、ヒーターを切って運転します。

④温度設定を変更して約5秒間放置すると、設定が更新され、温度表示部は現在の温度に戻ります。

お知らせ

- 現在温度表示は、本体内を循環している浴水温度を表示しています。浴水に水を補給した場合、一時的に表示温度が下がることがあります。
- 設置工事のホース長さや設置条件等により、表示温度と浴水温度に差が生じる場合があります。

本機は、循環ポンプの発熱を浴水保温の一部として利用している省エネ設定となっておりますので、夏期や浴室内の気温が高い時は、設定温度よりお湯の温度が高くなる場合があります。このような場合には水道水を浴槽に入れ、適度な温度まで下げてください。

3. 各機能

4. 静音運転

- 運転中に「静音／高速スイッチ」を押すと、約8時間静音運転します。
- 静音運転中は、「静音／高速ランプ」が点灯します。
- 静音運転を終了すると、自動的に通常運転に戻ります。
- 静音運転を途中で中止したいときは、「静音／高速スイッチ」を押すと通常の運転に戻ります。（「静音／高速ランプ」が消灯します）
- 静音運転時間は次の手順で変更できます。

●静音運転時間の変更方法

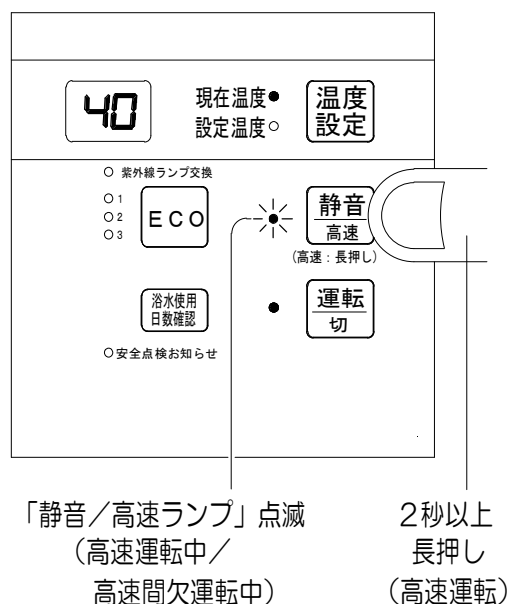
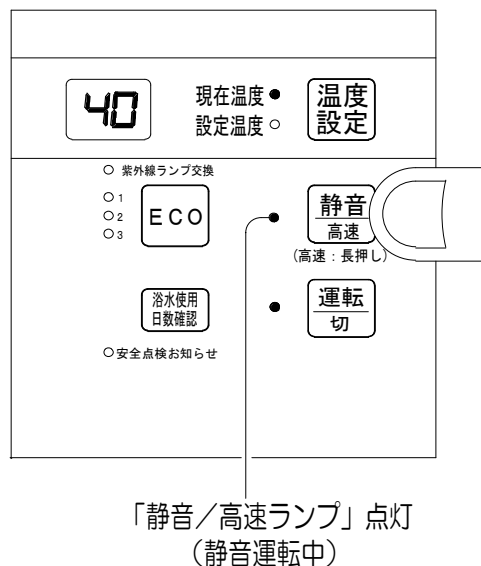
- ① 運転を停止する。
- ② 「静音／高速スイッチ」を長押しする。
（温度表示部に、現在設定されている静音運転時間が点滅表示されます）
- ③ 温度設定スイッチを押して、静音運転時間を変更する。
（静音運転時間は 00～24 時間まで選べます。00 を選択すると、運転中に「静音／高速スイッチ」を押しても静音運転は作動しません）
- ④ 設定変更を確定するときは、③の後「静音／高速スイッチ」を押して確定させる。
（③の後、5 秒以上放置していても確定したことになります）

⚠注意

静音運転を長く設定したまま長期間運転していると、配管内にスケール汚れが付着しやすくなり、配管洗浄のお手入れ時期が早くなる場合があります。

5. 高速運転

- 運転中に「静音／高速スイッチ」を2秒以上長押しすると、約8分間高速運転します。
- 高速運転中は、「静音／高速ランプ」が点滅します。
- 高速運転を途中で中止したい時は、「静音／高速スイッチ」を押してください。高速運転を開始する前の運転状態に（通常または静音）戻ります。



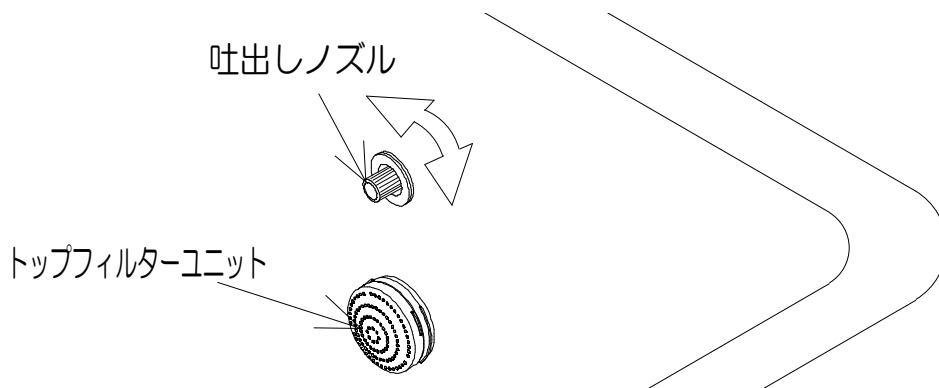
・間欠運転

- 高速運転中に「温度設定スイッチ」を押すと、吐出しノズルから出てくる吐水量を自動調節し、間欠運転を行います。
- 「温度設定スイッチ」を押すたびに、現在の温度表示部が「温度表示」→「01」→「02」→「03」と一巡して切り替わり、各表示内容のときは次の運転状態で、間欠運転を繰り返します。
- 間欠運転中は、吐水量の速度に応じて温度表示部の左側が時計回りに点滅します。

温度表示部	運転状態
<div style="text-align: center;">  <p>温度表示 (例：浴水温度40℃の場合)</p> </div>	<p style="text-align: center;">高速運転のみ</p>
<div style="text-align: center;">  <p>間欠運転 パターン ①</p> </div>	<p style="text-align: center;"> 高速 → 通常 </p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>早く 点滅回転</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ゆっくり 点滅回転</p> </div> </div>
<div style="text-align: center;">  <p>間欠運転 パターン ②</p> </div>	<p style="text-align: center;"> 高速 → 低速 </p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>早く 点滅回転</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>下側がゆっくり 点滅回転</p> </div> </div>
<div style="text-align: center;">  <p>間欠運転 パターン ③</p> </div>	<p style="text-align: center;"> 高速 → 通常 → 低速 </p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>早く 点滅回転</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ゆっくり 点滅回転</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>下側がゆっくり 点滅回転</p> </div> </div>

6. 気泡浴 (吐出しノズル)

- 吐出しノズルを廻すと「気泡水流」または「水流のみ」を選択できます。



7. ECOモード

○ECOスイッチを押すと、設定された時間だけヒーターを切って運転します。

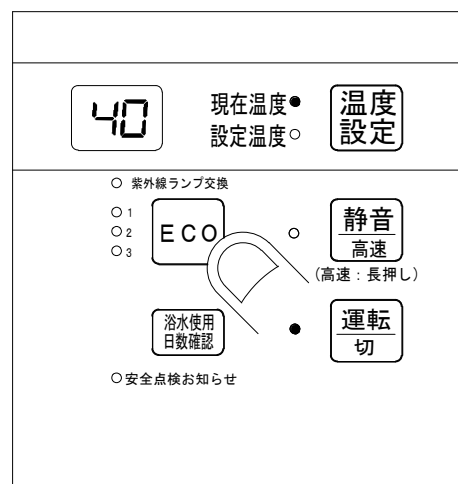
○ECOスイッチを押す度に、ランプが1点滅→1・2点滅→1・2・3点滅→消灯(解除)と切り替わります。

○初めてお使いになる時は、ランプ1個が5時間に設定されています。(ランプ3個点滅の場合は15時間になります。)

○ランプ1個の時間を変更することもできます。(4～8・12・24時間まで)

○ECOモードが終了すると通常運転に戻り、浴水を加熱し始めます。

○ランプが点滅から点灯に変われば、ECOモードを開始します。



●ランプ1個の時間変更の方法

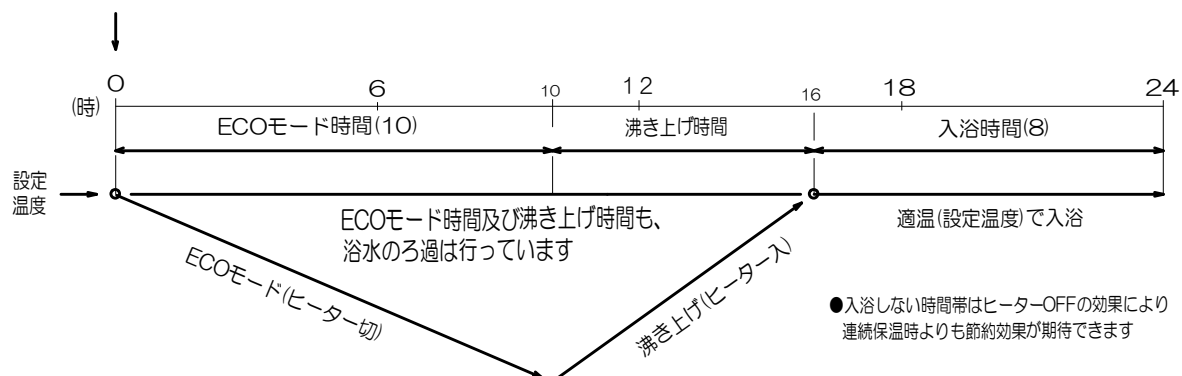
- ①ECOスイッチを3秒押す→ランプ1個の時間が温度表示部に点滅表示されます。
- ②温度設定スイッチで時間を変更してください。
- ③静音スイッチを押して決定します。(運転スイッチを押すと、変更されずに変更モードを終了します)

		ECOランプ		
		①点灯	①②点灯	①②③点灯
ランプ1個の時間	4	4	8	12
	5	5	10	15
	6	6	12	18
	7	7	14	21
	8	8	16	24
	12	12	24	36
	24	24	48	72

上記以外の時間は設定できません

ECOモードの動作イメージ

例：入浴時間が8時間(16時から24時まで)、浴室気温20℃の場合
最終入浴者が、ECOスイッチを2回押す(10時間)



- 入浴時間外に入浴する場合は、湯温が設定温度より下がっています。
浴水のろ過は常に行っているため、追いだき・足し湯等で適温にすれば入浴できます。
- 浴水量、気温、設定温度等の条件により、入浴時間になってもお湯が沸き上がっていない場合があります。
(沸き上がっていない場合は、次回より ECO モードの設定時間を短くしてご使用になるか、または追いだき・足し湯等で適温にして入浴してください。)
- 浴水量、気温、設定温度等の条件によっては、電気代が連続保温時とほとんど変わらない場合があります。
- ECO モード設定は、ECO モード使用日毎の操作となります。連続して使用される場合は、その都度操作を行ってください。

8. 浴水使用日数確認スイッチ

- 浴水使用日数確認スイッチを押すと、浴水の使用日数を確認することができます。(0~299 日)
- 浴水を交換したら、必ず使用日数のクリアを行ってください。
- 浴水の使用期間、ろ過材の洗浄期間、配管洗浄期間等の目安として、お客様のお好みの用途でご使用ください。

浴水使用日数の読み取り例
表示 浴水使用日数

99	⇒ 99日目
99.	⇒ 199日目
9.9.	⇒ 299日目
12.	⇒ 112日目

●使用日数のクリア方法

- ①浴水使用日数確認スイッチを押す。
- ②使用日数の表示中(5 秒間)に、再度スイッチを 2 秒以上押ししてください。
- ③表示部に「00」が表示されるとクリア完了です。

4. 長期間使用しないとき

長期間運転しない場合、配管、ろ過材、フィルターセット等を洗浄し、漏電保護プラグを抜いて機器の水抜きを行ってください。ろ過材は乾燥させて保管してください。

(水抜き方法 19ページ参照)

再び使用する際には、「1. 運転の準備」に従って運転を開始してください。

5. 凍結予防

凍結の恐れのあるときに運転を停止する場合は、水抜きなどを行って凍結予防をしてください。

(水抜き方法 19ページ参照)

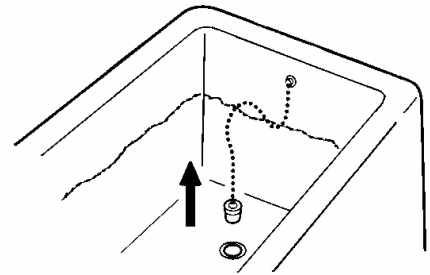
凍結すると機器や配管が破損し、高額な修理費がかかる場合があります。

(凍結による修理は、保証期間内でも有償とさせていただきます。)

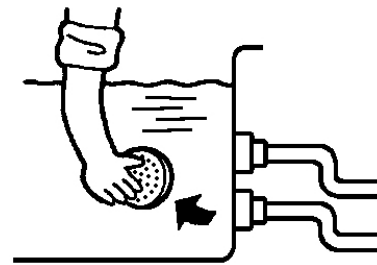
操作のしかた

6. 水抜き方法（凍結予防または、長期間使用しないとき）

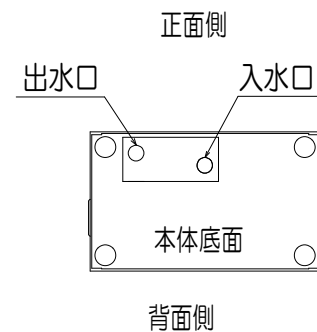
- ①運転を停止し、漏電保護プラグを抜いてください。
- ②ふろの排水栓を抜いてください。
- ③2箇所のバスケットキャップをそれぞれ外し、ろ過材(4袋)を本体から取り出してください。



- ④フィルターセットを、吸い込みユニットから、取り外してください。



- ⑤機器底面の入水口、出水口に接続されたシリコンホースをそれぞれ外し、機器内に残っている水を捨ててください。
- ⑥外したシリコンホースを、それぞれもとの機器の入水口、出水口に再度接続し直してください。この時、差し間違わないように注意して下さい。差し間違ったまま運転すると、故障の原因となります。



※浴水が多量に排水されるので、水濡れにご注意ください。

- ⑦ろ過材は手洗いし、乾燥させて保管してください。
(ろ過材の洗浄 24ページ参照)

●再びご使用になるとき

配管洗浄を行い、ろ過材をセットしてご使用ください。

(配管洗浄 25～26ページ参照) (ろ過材のセット 11ページ参照)

●短期間使用しないときは、ヒーターをOFFにして、循環運転のみを行い、再使用するときには浴水の入れ替え、場合によっては配管洗浄を行って運転を開始してください。

7. 使用上の注意

- ご使用にあたっては、取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

誤った取扱をすると、人身事故（レジオネラ感染症を含む細菌感染など）や家財の損害に結びつくおそれがあります。



- 点検・お手入れは必ず行ってください。

詳しくは22～26ページを参照してください。



- 浴槽に付着した湯あかや汚れは、入浴後にスポンジ等で拭き取ってください。

浴槽に湯あかや汚れ等が付着していると、細菌などが繁殖しやすい環境となり、菌による疾病を起こす原因になることがあります。



- 浴槽水の入替えは、1週間に1回以上行ってください。

長期間浴槽水を入れ替えなかったり、浴槽水が濁ると菌が繁殖しやすくなり、疾病を起こす原因になることがあります。



- 浴槽内のお湯は飲まないでください。

細菌などで疾病を起こす原因になることがあります。



- 入浴するときはよく洗ってから入浴してください。

身体に付着している菌を浴槽に持ち込むと菌が繁殖して菌による疾病を起こす原因になることがあります。



- 入浴前かけ湯をしてください。

浴槽内のお湯が長期間入れ替わらないと、菌が繁殖しやすくなり疾病を起こす原因になることがあります。



- タオルは浴槽内では使用しないでください。

お湯が汚れたり、濁ると菌が繁殖しやすくなり疾病を起こす原因になることがあります。



- 浴槽内のお湯をシャワーに使用しないでください。

浴槽水のエアロゾル（目に見えない水粉子）が発生した場合に、細菌を吸い込み疾病を起こす原因になることがあります。



- 身体に傷・化膿症の方は、患部を浴槽内のお湯につけないでください。

化膿傷から浴槽内に菌を持ち込むことがあり、感染の原因になることがあります。

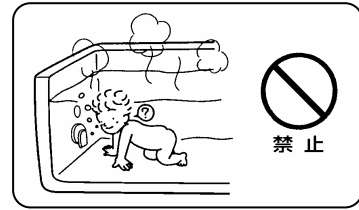


- 高圧の気泡発生装置（ジェットバス）は入浴中は使用しないでください。

浴槽水のエアロゾル（目に見えない水粉子）が発生した場合に、細菌を吸い込み疾病を起こす原因になることがあります。



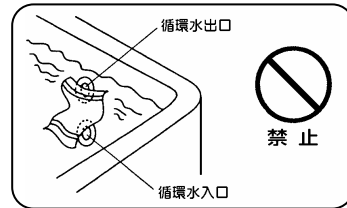
- 小さなお子様を浴槽に潜って遊ばせないでください。
また循環口の噴流を目や耳などに直接当てないでください。
細菌などで疾病を起こす原因になることがあります。



- トップフィルターは毎日確認し、定期的に掃除して下さい。



- 浴槽の循環口はタオルなどでふさがないでください。



- 砂、小石、水面に浮いた髪の毛などはろ過できませんので、取り除いてください。



- 入浴しないときは、浴槽にふたをしてください。



- 浴槽内でシャンプー・洗剤を使用しないでください。また浴室を掃除するときは洗剤が浴槽内に入らないようご注意ください。



- 浴槽水は水道水を使用してください。ただし、飲み水に可能な井戸水は使用できます。



- 24時間浴水をためておいても変質しない浴槽を使用してください。



- 硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤、洗剤、温泉水は、浄化できなくなったり、故障の原因となりますので使用しないでください。



- 紫外線灯の光を直視しないでください。



- 本機は完全防水ではありません。絶対に浸水させないでください。



日常の点検

- 機器を長く安全にご使用いただくために日常の点検お手入れを必ず行ってください。
- 故障また破損している場合は使用しないで買い上げの販売店にご連絡ください。

●点検内容

- ① 運転中に異常音などが聞こえませんか？
- ② 機器の外観に異常はありませんか？
- ③ 機器および配管から水もれなどはありませんか？
- ④ 漏電保護プラグの点検（1ヶ月に1回程度）

・漏電保護プラグの動作確認

月に1度は、テスト（切）ボタンを押して、動作表示ランプが点灯することを確認してください。

※テストボタンを押す前に、運転スイッチで本機を停止させておいてください。

⚠ 警告

動作表示ランプが点灯しない時は、漏電保護プラグをコンセントから抜き、販売店にご連絡ください。

⚠ 注意

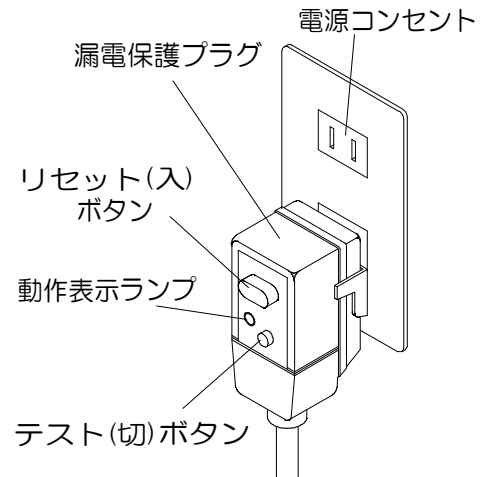
漏電保護プラグはコードを持って引き抜かない。

・点検後の運転

漏電保護プラグのリセット（入）ボタンを押すと、動作表示ランプが消灯し、本機に通電されます。運転スイッチを押して運転を再開させてください。

⚠ 警告

漏電保護プラグは、浴室内や屋外等の水滴がかかる場所や湿気の多い場所へ持ち込まない。



日常のお手入れ

● 日常のお手入れ項目



注意

- ・お手入れの前には、必ず漏電保護プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ・お手入れが必要な所以外は、絶対に分解しないでください。

- ・お湯をきれいに保つために、下記のものは必ず定期的にお手入れしてください。
- ・浴槽のヌメリは、スポンジ等で軽くこすってください。
- ・紫外線ランプの寿命は、使用状態によって異なります。
- ・トップフィルター、紫外線ランプ、ろ過材、ろ過材ネットは消耗品です。
- ・ろ過材が、摩耗などにより減少しているようであれば補充してください。

- 浴水の衛生管理のため、下記の項目は必ず定期的にお手入れしてください。

お手入れ項目	頻度	参照ページ
浴槽水換水と浴槽清掃	1週間に1回以上	23
トップフィルターの洗浄	毎日入浴後	24
浴槽壁面のヌメリ、汚れ除去	毎日入浴後	23
ろ過材の洗浄	1ヶ月に1回以上	24
配管の点検、洗浄	2～6ヶ月に1回	25～26
紫外線ランプの交換時期	約1年	29

1. 浴槽水換水と浴槽清掃

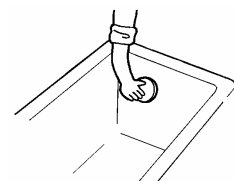
① 運転スイッチを押して、運転を停止する。

操作パネルの運転スイッチを押す

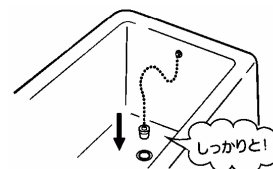


② 浴槽の排水栓を抜き、浴水を抜く。

③ 浴槽を掃除する。



④ 浴槽に水もれのないように排水栓をし、湯はりをする。



⑤ 漏電保護プラグをコンセントに差し込み、運転を再開する。

(運転開始 13ページ参照)

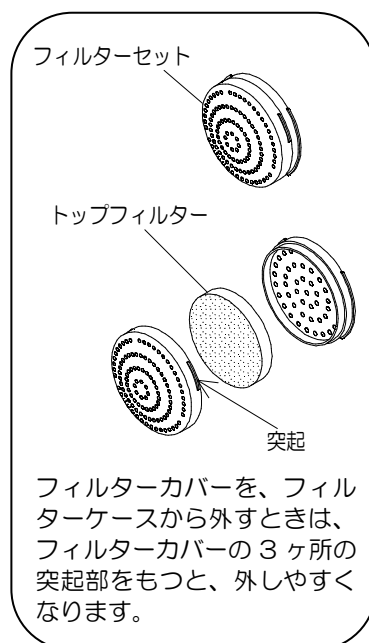
2. トップフィルターの洗浄

- ・トップフィルターは、浴水循環吸込口に取付け、髪の毛など、浴水の混入物が機器内に入らないよう、キャッチします。
- ・トップフィルターが目づまりすると、機器の性能が低下しますので、必ず毎日取り出し洗浄してください。

①フィルターセットを浴槽外に取り出してください。
(浴槽内でフィルターセットを分解しないでください。)

②トップフィルターを、水またはお湯に浸けて
もみ洗いしてください。

〔 洗剤を使用する場合は中性洗剤を使用してください。 〕



⚠注意 トップフィルターは消耗品です。傷んだら交換してください。

3. ろ過材の洗浄

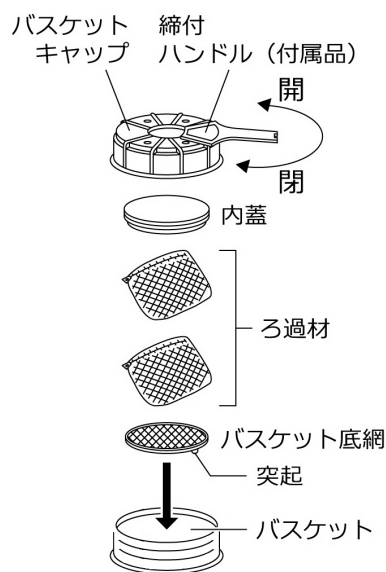
- 1ヶ月に1回以上、ろ過材を洗浄してください。
- ろ過材は消耗品です。摩耗している場合は交換または、補充してください。
- ろ過材ネットが破れているときも交換が必要です。

①運転を停止して、本体化粧蓋を外し、付属のハンドルでバスケットキャップを外します。
●浴槽の水位よりバスケットキャップの位置が低い場合、バスケットキャップを外すときにバスケットからお湯があふれます。あらかじめ浴槽の水位を下げてから、外してください。

②ろ過材(4袋)を各バスケットから取り出してください。

③ろ過材をネットごと水洗いします。
●このとき、バスケット底網もよく洗ってください。
●ろ過材は洗剤で洗わないでください。

④洗い終わったらろ過材をセットし、バスケットキャップを確実に締めてから、運転を再開してください。
●バスケットキャップを斜めに取付けたら、確実に締まっていないときに運転すると、水漏れして本機の故障の原因になります。



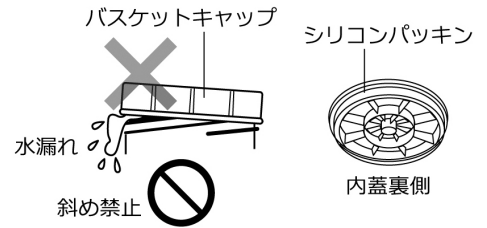
⚠注意

ろ過材の洗浄時は、エアロゾルを吸わないようにマスク等を着用して作業して下さい

日常のお手入れ

⚠ 注意

- バスケットキャップと内蓋は本体と水平になるように閉め、専用ハンドルで締めてください。
- バスケットキャップと内蓋を斜めに取り付けたり、確実に締まっていないときに運転すると、水漏れして本機の故障の原因になります。
- 内蓋を取り外しするときは水漏れ防止のため、内蓋のシリコンパッキンが外れていないか、または傷んでいないか確認してください。

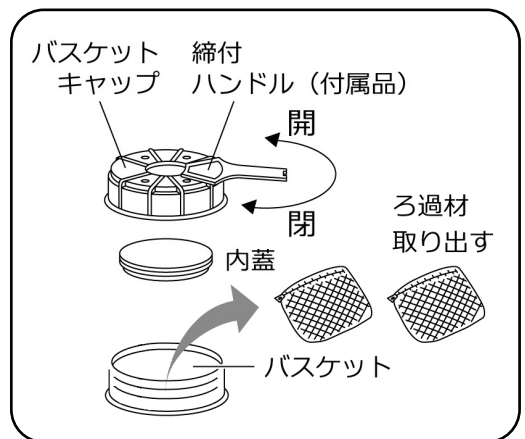


4. 配管洗浄

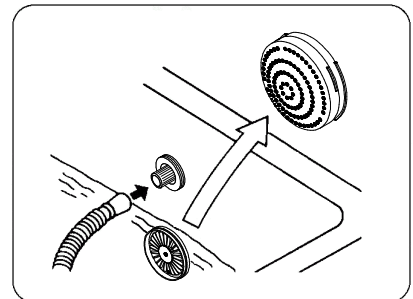
- 配管は定期的に点検し、汚れている場合は洗浄してください。

1 配管洗浄の準備

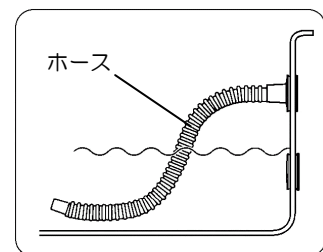
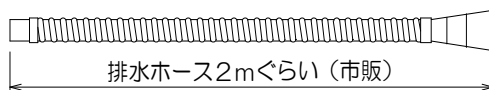
- ①運転スイッチを押して、運転を停止させてください。
- ②各バスケットキャップを外して、ろ過材(計4袋)を本体から取り出します。



- ③浴槽のお湯を排水栓で抜き、吸込口の上位まで減らし、フィルターセットを外してください。



- ④排水ホース(市販)を吐出しノズルに差し込み、ホース先を浴槽内に入れておいてください。



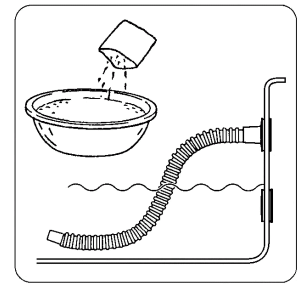
- ⑤以上の状態で、運転を開始します。浴水が循環するか確認してください。

2 配管洗浄の開始

- ① 浴槽に配管洗浄剤（別売品）を洗面器などで溶かしてから入れてください。

〔 洗浄剤は別売品の配管洗浄剤（クリーン24）
を使用してください。使用量はクリーン24に
付属の説明書をよくお読みください。 〕

- ② 洗浄剤を入れてから、3時間以上運転してください。
洗浄を長時間行うほど、洗浄効果があります。



3 配管洗浄の停止

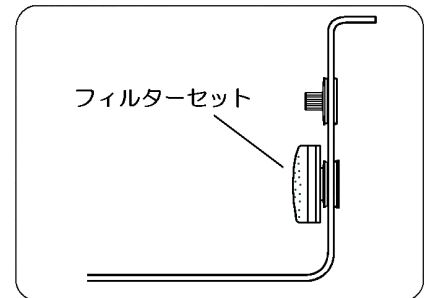
- ① 運転スイッチを押して運転を停止し、浴槽のお湯を全て排水してください。

操作パネルの運転スイッチを押す



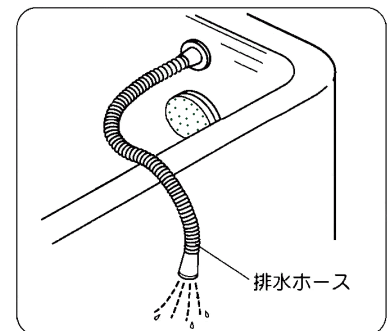
- ② 浴槽内を清掃して、フィルターセットを取り付けてください。

フィルターセット



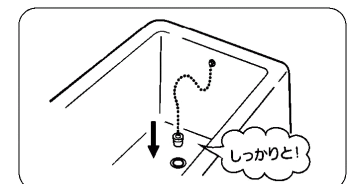
4 配管洗浄後のすすぎ

- ① 浴槽を満水にして、吐出しノズルに排水ホース（市販）を差し込み、浴槽の外に出してください。
- ② 運転スイッチを押して運転を開始し、浴槽の水がトップフィルター位置まで減れば、運転スイッチを押して運転を停止してください。



5 配管洗浄後の運転

- ① すすぎで残った浴水を全て排水し、水漏れのないようにしっかりと排水栓をしてください。
- ② 排水ホースを取り外してください。
- ③ 各バスケットに、ろ過材（2袋）・内蓋・バスケットキャップを必ず取り付けてください。
- ④ 浴槽にお湯張りして、呼び水（むかえ水）を行った（12ページ参照）後、運転スイッチを押して運転を再開してください。



異常とその処置

■エラー表示一覧

○修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

エラー表示	原因	処置	
(断線) (短絡)	水温センサーの故障	販売店にご連絡ください	
	追いだき等による水温の上昇	水温を下げる	
	運転中に漏電保護プラグを抜いた、または停電	本体の運転スイッチでリセットしてください	
	トップフィルターの目詰まり	トップフィルターの洗浄	
	配管の汚れ	配管の洗浄	
	配管内に異物が入った	異物を取り除く	
	入水口、出水口を逆につないだ	正しく配管してください	
	水流センサーの故障	販売店にご連絡ください	
	循環ポンプの故障	販売店にご連絡ください	
	バスケット底網の入れ忘れ	突起部分を下側にして挿入	
	配管内に大量の空気が入った	むかえ水を行う	
	トップフィルターの目詰まり	トップフィルターの洗浄	
	配管の汚れ	配管の洗浄	
	ヒーターの汚れ(空だき)	配管の洗浄	
	空だきセンサーの故障	販売店にご連絡ください	
	ヒーター制御回路の故障/(制御基盤の故障)	販売店にご連絡ください	
	リモコンとの通信不良 (電源投入時等、一時的に「00」表示する場合がありますが異常ではありません)	販売店にご連絡ください	
以上 点滅表示	追いだき等による水温の上昇 (50℃になるとポンプ停止)	水温を下げる	
運転開始時 点滅表示	水流センサーの汚れ	配管の洗浄	
	何も表示しない	運転を停止させている	
		漏電保護プラグが抜けている	運転スイッチを押す 漏電保護プラグを差し込む
		漏電保護プラグのランプが点灯	漏電保護プラグのリセットボタンを押す (※1)
		コンセントに電気(100V)がきていない	屋内のブレーカーを調べてください
以下 点滅表示 (運転停止)	本体内部の浴水温度が3℃以下になった (凍結による故障防止のため、3℃以下では運転しません)	本体を温めるか、湯水を送り込み5℃以上の表示になると自動復帰します 本体内が凍結していないことが確認できれば、本体の循環ポンプを一時的に強制運転させ、浴水を本体内に送り込むことができます(※2)	

※1 漏電保護プラグのリセットボタンを押しても、再度ランプが点灯する場合は、販売店にご連絡ください。

※2 循環ポンプの強制運転方法

運転を「切」にし、運転スイッチを5秒以上長押ししてください。

(0~4℃を表示中でも、10秒間だけ本体の循環ポンプが強制運転します)

その他の表示

HE : 能力不足表示(浴水量過多、気温低下等で保温できないときに表示されます。

故障ではありませんが、浴水量を減らしたり浮かし蓋等の対策を行ってください)

BE : 安全点検お知らせランプが点滅して約1年が経過しています。販売店にご連絡ください。

hd : ヒーター回路の断線(ヒーター温度ヒューズ切れ)です。販売店にご連絡ください。

■症状/原因/処置

○修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

症状	原因	処置
浴水の水が濁る	追いだき釜の汚れ	追いだき釜の洗浄
	バスケットにろ過材が入っていない	2つのバスケットすべてにろ過材(各2袋ずつ)を入れてください
	浄化微生物がろ過材に付着していない	配管洗浄を行い、水を入れ替えてください
	入浴剤や温泉水を使用した	入浴剤や温泉水を使用しないでください
	長期間運転をしなかった	配管洗浄及びろ過材の洗浄を行ってください
循環が悪くなった	トップフィルターの目詰まり	トップフィルターの洗浄
	ろ過材の目詰まり	ろ過材の洗浄
	配管の汚れ	配管の洗浄
水温が上がらない	温度設定がOFになっている	好みの温度に設定してください
	浴槽からの放熱が多い	浴槽を蓋等で保温してください
	トップフィルターの目詰まり	トップフィルターの洗浄
	ろ過材の目詰まり	ろ過材の洗浄
	配管の汚れ	配管の洗浄
	ヒーターの故障	販売店にご連絡ください
	ECOモードの設定時間が長い	設定時間を変更する(時間を短くする)
水温が上がりすぎる	本機は循環ポンプの発熱を浴水保温の一部として利用しています 夏期や機器周辺の気温が高いときは、設定温度より水温が高くなる場合があります。	水を浴槽に入れ、適度な温度まで下げてください
浴槽の水の減りが早い	本体から水漏れしている	販売店にご連絡ください
	浴槽の栓が緩んでいる	浴槽の栓をしっかりとる

ご注意：浄化能力について

使用開始後、浄化能力が安定するまでに1～2週間かかる場合があります、浴槽の水が濁ることがあります。このようなときは、ろ過材の洗浄及び配管洗浄を行い、水を入れ替えてください。

部品交換のしかた

- ・ 短期間で消耗する部品は特にありませんが、交換部品が必要なときはお買い上げの販売店で
お求めください。

紫外線ランプの交換

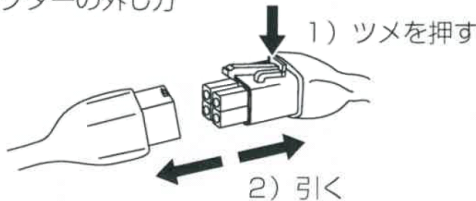
(紫外線ランプ・グロー球のお求めは、販売店までご連絡ください)

- 紫外線ランプは 1 年使用、または交換ランプが点灯(点滅)したら交換してください。
(同時にグロー球も交換してください)
- リード線のコネクターを外すときには、必ずコネクターを持って外してください。
リード線を引っ張らないでください。
- 交換終了後は、下記の手順で「紫外線ランプ交換」のクリア処理を行ってください。
① 運転停止 → ② 温度設定スイッチ長押し(50 点滅)
→ ③ 静音/高速スイッチ押す(00 表示) → クリア完了

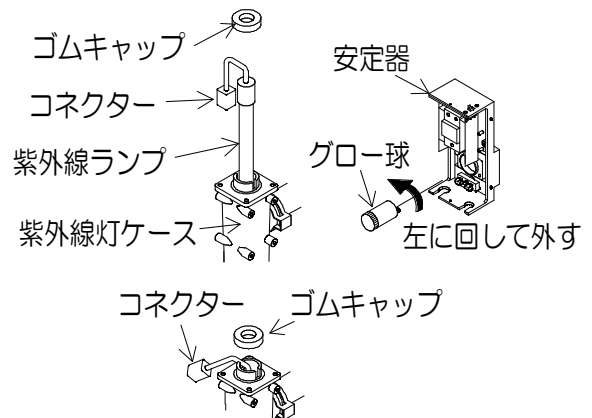
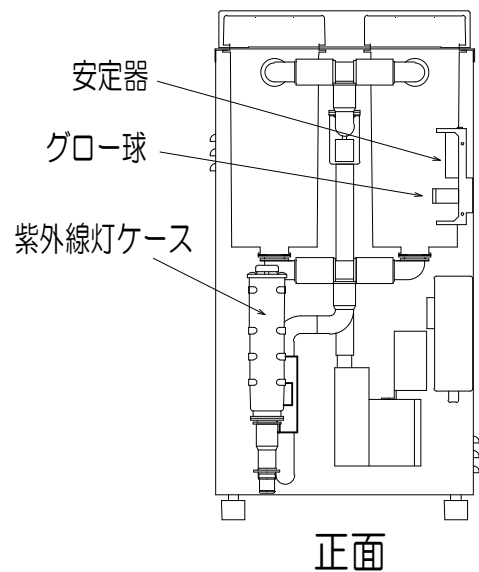
交換の手順

- ① 運転を停止し、漏電保護プラグをコンセントから抜いてください。
- ② 前板を外し、本体左下にある紫外線灯ケースのゴムキャップを外してください。
- ③ 紫外線ランプのリード線のコネクターを外してください。

● コネクターの外し方



- ④ 紫外線ランプを取り出して、新品と交換してください。
- ⑤ グロー球を交換してください(グロー球は左に回すと外れます)。
- ⑥ 交換したら、外した部品を逆の順序で組み付けてください。



⚠ 注意

- ・ コネクターを外すときは手をケガしないように注意してください。
- ・ 紫外線ランプはガラス製です。割ってケガをしないように注意してください。
- ・ 点灯中の紫外線ランプの光を、直接見ないでください。目を痛める恐れがあります。

仕 様

商 品 名	バルナ mini	
型 式	CKV-251J	
電 源	AC100V 50/60Hz	
定 格 消 費 電 力	844W	
ヒ ー タ ー	750W 間接加熱ユニットヒーター	
設 置 場 所	屋外用（軒下据置）	
対 応 入 浴 人 数	7人/日	
対 応 浴 槽 容 量	最大300L	
除 菌 方 式	紫外線照射及び光触媒（24時間照射）	
浄 化 方 式	物理浄化:トッフィルター 微生物浄化:ろ過材（セラミックス）	
水 質 基 準	24時間風呂協議会自主基準に準ずる	
	濁 度	2度以下
	過マンガン酸カリウム消費 量	25mg/L 以下
	大腸菌群数	1個/1ml 以下
	レジオネラ属菌	10 ² CFU/100ml 未満
	検体採取方法	24時間風呂協議会自主基準に準 ずる
	検査方法	
外 形 寸 法	高さ690×幅351×奥行き212 (mm)	
製 品 質 量	約17kg（ろ過材別）	
別 売 品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交換用トッフィルター：傷んだら交換 ・ 補充用ろ過材：摩耗などにより減少したら補充 ・ ろ過材ネット：傷んだら交換 ・ 交換用紫外線ランプ：約 1 年または交換ランプが点灯（点滅）したら交換 ・ 配管洗浄剤：配管洗浄毎に使用 	
お 手 入 れ の 内 容	浴水の交換	1 週間に 1 回以上
	浴槽壁面のヌメリ除去	毎日入浴後
	トッフィルターの洗浄	毎日入浴後
	ろ過材の洗浄	1 ヶ月に 1 回以上
	配管の洗浄	2～6 ヶ月に 1 回
	浴槽の洗浄	浴水の交換時に洗浄
	紫外線ランプの交換時期	約 1 年または交換ランプが点灯（点滅）したら交換
安 全 装 置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 循環ポンプ空運転防止機構（水流センサー） ・ ヒーター空だき防止機構（空だき監視センサー、温度ヒューズ） ・ 浴水温度過昇保護装置（過昇保護センサー） ・ 漏電防止装置（漏電保護プラグ）定格感度電流 6mA ・ 過電流防止装置（管ヒューズ 15A） ・ 転倒時安全装置（傾斜センサー） 	
電 源 コ ー ド	約7m	

アフターサービス

アフターサービスを依頼される時

- 27～28ページの異常とその処置を調べていただき、なお、異常のあるときは、お買い上げの販売店に御連絡ください。

連絡していただきたい内容

- 型式名……バルナ mini CKV-251J
- お買い上げ年月日（保証書をご覧ください。）
- 異常の状況（エラー表示の内容・故障状況など、できるだけ詳しく）
- お名前、ご住所、電話番号
- 訪問ご希望日

保証について

■この機器には保証書がついています。

必ず「販売店名・お買い上げ日」などが記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになった後は、大切に保管してください。

- 無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の最低保有期間について

- この機器の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後7年です。
なお、補修用性能部品とは、機器の性能を維持するための部品です。

■転居される場合

- 機器の移動、設置、付帯工事はお買い上げの販売店までご相談してください。
この場合、移動、設置、付帯工事に要する費用は保証期間内でも有料となります。

この説明書および本体に表示されている禁止事項・注意事項および通常使用に反してご使用された場合の故障事故は保証いたしません。

× 毛

《お客様メモ》

アフターサービスのご連絡に便利です。

型式名	バルナ mini CKV-251J
お買上げ年月日	年 月 日
お買上げ店	
担当者	
TEL	



コロナ工業株式会社

本 社 〒776-8555 徳島県吉野川市鴨島町上浦 400-1

TEL (0883) 24-1155

FAX (0883) 24-8506